



新時代を生き抜く たくましさ、柔軟性を持つ 多様な人材育成。

万本を突破しました。東北では仙台塩釜港に次ぐもので、秋田港の着実な発展を示す、うれしいニュースとなりました。今後も貿易関連施設の整備促進や航路の充実などをはかり、秋田港の活性化と貿易の促進に努めます。

一方、農林業については、担い手の確保や生産・流通振興などこれまでの取り組みに加え、秋田市ならではの地域特産の研究開発や販路開拓に努めてまいります。

教育 **たくましく心優しい 明日を担う人づくり**

激動の二十一世紀を切り拓いていく原動力は無限の可能性を秘めた人材にほかなりません。心の豊かさを育みながら、知恵やきらりと光る個性、新時代を生き抜くたくましさや柔軟性を持つ多様な人材育成に力を入れます。

その一端を担うものとして、豊かな自然の中でさまざまな体験学習ができる(仮称)青少年自然文化ランドの建設を、太平山リゾートパーク内で進めています。宿泊研修施設やキャンプ場などを整備するもので、オープンは平成十五年八月の予定です。楽しみにお待ちください。

また、ソフト面でも、地域のかたがたの「教育力」を活用しながら、複数の学校が協力し、スポーツ活動や文化活動、ボランティア

体験などを行う「はばたけ秋田っ子」、中学生が行政関係者や市民と郷土秋田について話し合う「ゆめ秋田21中学生会議」など、本市独自の教育を地域と一体となって推進していきます。

環境 **豊かな自然と共生を！ 秀麗無比なるふるさと秋田**

昭和五年制定の秋田県民歌の一番は、「秀麗無比なる鳥海山よ狂瀾吼え立つ男鹿半島よ」という郷土の大きい自然への畏敬を込めた呼びかけに始まり、「山水皆これ詩の国秋田」と誇りをもって結ばれています。豊かな秋田の自然を誇り、慈しむ気持ちは、七十年を経て、新世紀になった今日も変わらぬものと思います。

美しい郷土の自然を守り、次世代に伝えて行くのは私たちの責務です。と同時に、我々市民が自然の価値についてもっと認識を深めることも必要となるでしょう。

秋田の良さは、自然が生活のすぐ隣にあるところです。乱開発でもなく、放置でもなく、自然と共生していくことこそが、環境の世紀たる二十一世紀のテーマです。

ふるさと秋田の豊かな自然を守る一方で、青少年自然文化ランドなどにより、自然と触れ合う機会をひろげ、かけがえのない自然の価値を知り、積極的な活用につなげていきたいと思っています。